

平成26年度習志野市史編さん委員会会議録

日 時 平成27年1月16日（金） 午後3時～午後4時10分
場 所 教育委員会1階大会議室
出席委員 上山委員長・小倉副委員長・井上委員・石山委員
岡村委員・齊藤委員
出席職員 広瀬生涯学習部長・櫻井生涯学習部次長
上野社会教育課長・白鳥文化財係長・松浦主査
傍聴者 0名

会議次第・内容

— 開会 —

1. 自己紹介

2. 生涯学習部長挨拶

3. 職員紹介

4. 委員長・副委員長選任

習志野市史編さん委員会条例第4条の規定に基づき、上山委員が委員長に、小倉委員が副委員長に選任された。

5. 委員長及び副委員長挨拶

6. 議事録署名人選出

委員名簿の順に従い、井上委員長と石山委員が議事録署名人に選出された。

7. 報告

(1) 市史刊行物の販売

ア 市史刊行物の販売状況

事務局 市史刊行物の販売状況について報告。

(2) 市史調査

ア 市史関係資料の収集・調査

a 文献資料の収集・調査

b 写真資料の収集・調査

c 年中行事の調査

d 石造物の調査

事務局 習志野市の歴史に関わる文献資料及び写真資料の収集・調査並びに年中行事及び石造物の調査について報告。

委員 石造物の調査カードは造っているのか。それに、写真は入っているのか。

事務局 過去にカードを作成して調査しているが、今回は新たな形式でカードを作成し、写真や地図も掲載している。

委員 最近、芝山町から石造物の調査の本が刊行された。その調査の際のカードは自

分が作成したので、参考にしてほしい。また、別紙 2 の絵葉書で「習志野原野・榮演習實況」とあるが「營」の間違いではないか。

事務局 「營」の誤りである。

委員 石造物の調査は、今までにやっているが、新たに実施したということか。

事務局 昭和 50 年代にボランティアの協力を得て実施しているが、その後、場所等が変更になっている所があるので、今回実施した。

委員 まとめたら本にした方がよい。

(3) 市史関係資料の保存と活用

ア 史資料の整理・保存

a 市史編さん室保管の文書・写真類の整理（継続中）

事務局 市史編さん室において、適切な温度湿度の環境で資料を保管しており、24 時間その記録を計測しているが、問題は発生していないことを報告。また、既存の資料はもとより新資料についても整理していることを報告。

b 民俗資料の整理

事務局 平成 29 年度完成予定の新庁舎建設に伴い、現在民具を保管している旧習志野高校校舎の解体が、平成 27 年度に予定されているため、本年度中に民具を適切な場所に移設・保管する計画であることを報告。

イ 史資料の活用

a 総合教育センターにおける古文書等の展示

事務局 1 階ロビーにて歴史関係の資料を展示中（8 時 30 分～17 時）。考古資料として、実籾 3 丁目遺跡出土土器（平成 26 年 4 月、市指定文化財に指定）及び藤崎 3 丁目南遺跡出土資料等を展示。文献資料として、日露戦争に関わる捕虜収容所の写真及び雑誌等の展示（前半）、富士信仰に関連する道中日記（鶴田礼司家文書）等の展示（現在展示中）について報告。

b 所蔵資料の利用に対する許可

事務局 資料の利用許可については、ほとんどが近・現代の資料である。

ウ その他の普及活動

a 歴史に関する講座への講師派遣

事務局 習志野市民カレッジに講師を派遣し、習志野の歴史関係について講義した。

b 市民・団体等からの歴史に関する問い合わせへの回答

事務局 習志野の地名の由来、捕虜収容所関係、小学校設立の由来などの問い合わせに対し回答した。

エ 市史編さん事業に係る研修会等

a 千葉県資料保存活用連絡協議会

事務局 資料の保存等に関する情報交換の場となっている。

委員 エの a の表で、3 月 12 日の内容に「報告」とあるが「計画」ではないか。

事務局 これは、運営委員会における総会準備のための内容であるので、これで正しい。

- 委員 総合教育センターでの文献類の展示スペース資料に写っている部分だけなのか。
- 事務局 現在はそうである。考古資料関係では、指定物件等を展示しているが、状況によっては、民俗関係資料と入れ替えすることもある展示替えを随時行うので、場合によっては考古資料の展示スペースにも文献を置くこともあるかもしれない。
- 委員 資料の貸し出しの表があるが、習志野市が他機関から資料を借りて、展示することはないのか。
- 事務局 今年度はない。
- 委員 貸し出し表の利用形態に「借用」とあるが「貸出し」ではないか。
- 事務局 申請書の内容をそのまま記載したため「借用」となっているが、市からすれば「貸出し」である。
- 委員 「女性史聞き書きの会」のような市民への聞き取り調査などの録音テープ等の保存について検討して欲しい。
- 委員 調査・研究目的での個人撮影において、研究成果を寄付する決まりのようなものがあるのか。
- 事務局 出版物等に掲載する場合は、寄付していただくことを条件として許可している。
- 委員 成果を市民に知ってもらうことは良いことである。

(4) その他

ア 文化財関係の報告

a 旧大沢家住宅・旧鴫田家住宅

事務局 旧大沢家住宅と旧鴫田家住宅の来場者数について報告。

b 市指定文化財の指定

・実籾3丁目遺跡出土土器

事務局 平成26年度習志野市教育行政要覧に掲載されている文化財一覧を基に、実籾3丁目遺跡出土土器（平成26年4月、市指定文化財に指定。習志野市総合教育センター内展示中）の報告。

委員 習志野市指定文化財の件数は、他市に比べてどうか。

事務局 少ないと言える。

委員 寺院の悉皆調査をやっていないので、仏像の指定ができないのでは。

委員 他市はこの数倍の市指定や登録文化財があり、その中から特に重要なものが県や国の指定・登録となるはず。

事務局 昨年、久々の指定であったが、今後、指定を増やしていきたいという意思決定はできている。

8. その他

委員 昨年の市史編さん委員会において、説明のあった資料の件で、今回その後の経過を報告して欲しい。

事務局 昨年報告した資料とは、1年半以上前に市に寄付されたドイツ語で書かれた日記

のことである。第一次世界大戦中に習志野俘虜集所に収容されていたドイツ兵が書いた日記である。昨年の会議でも早く翻訳して欲しいとの要望があった。教育委員会としても、早く翻訳して正確な内容を把握し、市民等に公開していきたいと考え、昨年度に引き続き要望をしてきたところであるが、予算化は難しい状況にある。

委員 1年前は駄目でも、今年は期待していた。今までのやり方では駄目なので、お金を掛けずにやる方法を考えるべき。昨年、日独交流 150 周年で、今年も関連して催しがある。佐倉市にある国立歴史民俗博物館において、今年7月にドイツ大使館の協力を得て大きな企画展がある。これは、巡回展で、鳴門市、長崎市でも展示される予定で、その企画に乗ったらどうか。

国立博物館は、予算と人材を多く持っているので、市で抱え込むのではなくオープンにしてもらいたい。その成果は、市から発信すればよい。

事務局 ドイツに関係した民間の団体に相談した経緯はある。寄付された方は、日記の執筆者の子孫であるが、その方に翻訳及び公開してよいか、許可を願う手紙を送付しているが、今の所返事がない状況ではある。今年は、習志野俘虜収容所設立 100 周年ということもあり、この機会にぜひ翻訳をと考えていた。今後は、別の方法も考えていかなくていけない。その結果を次回に報告できればよいと考えている。

委員 寄付されているのか。

事務局 寄付資料である。

委員 契約は結んでいないのか。

事務局 結んでいない。

事務局 寄付者に一般公開してよいかを伺う手紙を出しているが、返事がない。

委員 返事はないかもしれない。

事務局 寄付者は相当高齢かと思う。なお、一般者による翻訳については、一部、個人のホームページ上で公開されているが、若干誤訳等があると聞いている。

委員長 その他、意見等がないようなので、本委員会を終了とする。

— 閉会 —

以上